

実施学年	6年	実施教科 (科目)	社会	実施日	H24.9.4
単元名	戦国の世から江戸の世へ				
本時の内容 (項目)	人々のくらしと身分				
本時の目標	絵図や文章資料から、それぞれの身分のくらしの特徴や違いを読み取る活動を通して、江戸時代は幕府の定めた身分制度によって職業や住む場所、税などの負担が決められていたことを理解することができる。				
授業場所	教室	ICT活用時の 授業形態	一斉学習・個別学習・グループ学習		
ICT活用場面	導入・展開・まとめ・他()		ICTの主な 活用者	教師・生徒	
活用するICT 機器	・電子黒板				
ICTを活用する目的・ねらい・予想される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・導入場面では、電子黒板の画面に資料(絵)を大きく映すことで、子どもの興味を惹き付け、本時の課題をつかめるようにする。 ・展開場面では、読み取ったことを発表する際に子ども自身が機器を活用しながら説明することで、分かりやすい発表ができ、意見交流が深まると考える。 				
児童生徒の情報活用能力を育てる指導場面・指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいたことや読み取ったことを発表する際、電子黒板の画面に映した資料(絵)にペンで印をつけながら発表することで、機器を活用しながら分かりやすく発表できるようにする。 				
利用するコンテンツ名・サイト等					
参考にしたサイト・文献等					
事前の準備	本時使う資料を電子黒板で提示できるよう準備しておく。				

指導計画（授業の展開）	<p>1. 武士、町人、百姓のくらしの絵を見て、身分によるくらしの違いがあることに気づく。</p> <p>2. 課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">江戸時代は、身分によって、くらしにどのような違いがあったのだろう。</div> <p>3. 絵図や文章資料から、それぞれの身分のくらしの特徴や違いを読み取る。（個人追究）</p> <p>4. 読み取った内容を交流する。（全体追究）</p> <p>5. 江戸幕府はなぜこのように身分を分けたのか、考える。</p> <p>6. まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">身分によって、職業や住む場所、税などの負担が決められていた。（江戸幕府のねらい…身分を分けてくらしを制限することで、幕府の支配を確実なものにしようとした。）</div>	（※情報モラルの指導内容）
ICT を活用した授業時の教師側（指導上）の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・画面に映した資料（絵）から課題を明確につかめるよう、資料を精選したり提示の仕方を工夫したりする。 ・子どもが発表に必要な電子黒板の機能を使えるよう、助言する。（ペン、拡大縮小など） 	
ICT を活用した授業時の児童生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・導入では、武士、町人、百姓のくらしの絵をそれぞれ見て、違いがあることに気付くことができた。 ・読み取った内容を交流する時に、児童自身が電子黒板の画面を指し示すなどして説明ができるとよかったが、そこまでできず、口頭だけの発表になってしまった。本時までには、電子黒板を使って発表するという積み重ねが足りなかった。 	
ICT を活用した授業後の評価（実践の手応え）	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に載っている資料であっても、電子黒板の画面に映し出して見せることによって、子どもたちの興味を惹きつける効果や、全員が同じポイントに着目できるというメリットがあると分かった。 	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ペンで印を付ける方法や拡大縮小の方法など、機器の操作方法を教え、子どもたち自身が電子黒板を活用できるようにしていく必要がある。そして、子どもが主体的に電子黒板を活用し、分かりやすく伝えることができるよう実践を重ねていく。 	

※情報モラルを指導したときは、その指導事項及び指導内容を記入する。